

# 市政 おおの

No.278

52.7.1



## カヤ屋根のふき替え

「残したいこの家、この技術」

カヤぶきの家屋は極めて少なくなりました。残っていても次第に消えゆく運命にあるものがほとんどです

このような中で、6月19日宝慶寺で土地に残るお年寄りたちが手伝って、15年ぶりに屋根のふき替え作業がありました。

約100年前に建てられた岡本政一さん(49歳)の住宅約80平方メートルの小ひらで、お年寄りたちは昔を懐かしみながら、ふき替え師、伊藤稔さん(66歳)を中心に生き生きと作業を進めていました。

伊藤さんは「カヤぶき家屋はみな

古いので壊すことにためらいはないでしょう。しかし、私はカヤぶき家屋が好きですし、宝慶寺に適した造りだと思えます。この技術を後世に伝える意味でも、1戸でも多く残したいものです」と流れる汗をぬぐいながら話していました。

参院選投票日時 7月10日午前7時～午後6時

5月の人口 人口42,707人(男20,634人 女22,073人) 世帯数10,396

## 6月定例市議会

## 地下水調査に2,370万円

一般会計2億3,522万円追加

第165回定例市議会は、6月18日～23日の6日間開かれ、「一般会計補正予算案」「大野市老人憩いの広場設置条例案」「町または字区域の変更について」などの17議案を審議し、原案どおり可決・承認しました。また、この議会では地下水規制のあり方と上水道建設に論議が集中。市長は一般質問の答弁で「節水を強力に進めるため、条例化するとすれば9月をめどに検討していきたい」と述べました。



2カ年計画で補修される越前大野城の石垣

70万円追加。▷緑橋下水道整備 693万円。▷本町都市下水道工事に490万円追加。

教育費▷有終東小盛土工事 650万円で完成。▷開成中マイクロバス1台購入 485万円。▷大野城石垣補修 2カ年計画で初年度分 600万円。▷上庄中グラウンド夜間照明工事 1,240万円。▷有終会館駐車場舗装工事 380万円。

## 駅東第二に新4町

駅東第二土地区画整理事業区域内の町・字が変更になり、新しい町の区域は次の図のようになりました。

上庄中グラウンド  
照明に1,240万円

一般会計は歳入歳出にそれぞれ2億3,522万2,000円を追加し、予算総額は49億6,956万7,000円になりました。主なものは次のとおりです  
交通安全対策費▷熊野神社横一春日通りへの道路肩改良に 200万円。

民生費▷老人憩いの広場新設費 1,868万円。

環境衛生費▷地下水の状況のスライド作成費64万円。▷地下水精査費 810万円。▷地下水収支調査費 1,560万円。▷給水タンク2基購入 128万円。▷し尿処理場ボイラー取替工事 770万円。▷し尿処理場余剰汚泥乾燥設備 2,150万円。

農林業▷大野市農協の米のぼら出荷施設建設補助 858万円。▷上庄農協の葉たばこ乾燥施設建設補助 172万円。▷花き総合改善団地育成事業補助 130万円。▷上舌外10カ所の市単土地改良工事 943万円。▷ほ場整備補助に 2,260万円追加。▷千本杉林道工事に 1,250万円を追加。

土木費▷道路改良、舗装工事に 2,450万円追加。▷除雪用グレーダー購入 1,093万円。▷河川改良に 1,2

## 融雪、工業用水の規制

9月をめどに  
条例化も検討

本議会の開会に先立つ6月15日、真名川ダム水資源対策特別委員会が開かれ、各委員からは「地下水問題は水不足よりも水質汚染がこわい。これを解決するためにも、上水道建設が必要。早く建設計画案を示せ」とか「大口利用者、融雪装置によるくみ上げ規制をどのように考えているのか」「規制は要綱ではもはや出来ないで条例を制定すべきだ」などの意見が百出。また、6月20日の本会議の一般質問でも「ことしの冬の規制はどうするのか」が論議的になりました。

これに対して市長は「融雪の規制生活用水の節水、工業用水の循環再利用は節水対策の基本です。節水を強力に進めるため条例を制定すべきだ」という声も多いので、どんな内容にするかをよく検討し、条例化するとすれば9月定例市議会に提案したい」と述べました。

地下水対策

一斉に動けば三時間で枯渴

設置家庭は千四百戸超す

融雪装置の調査結果

冬の井戸枯れの大きな原因になっている融雪装置の設置状況を正確には握するため、6月上旬市の職員が手分けして市街地と下庄地区の一部を1戸1戸訪問し、設置の有無、面積などを細かく調査しました。

その結果、6,482世帯のうち1,463戸に融雪装置があり、設置率は22.5%、昨年は18.5%、一昨年は15.1%でしたから相変らず設置家庭が増えています。

設置率が高い所を地域別にみると、中挾2区の76.2%を最高に、明倫5区の62.1%、弥生1区48.8%、本町5区46.6%、日吉町3区46%が目立ち市街地中心部と、新興住宅地に多く設置されていることがわかります。

また、設置個所は住宅の屋根が1,043カ所(前年比14%増)付属屋298カ所(3%増)となっており、工場や駐車場通路などを含めた総面積は32万8,589平方メートルになります。

この面積を消雪しようとすれば、消雪に使用されている平均水量計算(1平方メートル当たり1分間に1.9%)で1時間に3万7,500リットルくみ上げることになり、これらの装置が一斉に

7月1日市制23周年記念

市政功労47人、11団体を表彰

市制23周年記念式典が7月1日市役所大会議室で行われ、市政発展に功労のあった個人47人と11団体、また国民健康保険に加入している198世帯の健康優良世帯が市長から表彰されました。

市政功労者は次のみなさんです( )内は個人の場合は住所、団体は代表者の名前です。(敬称略)

〔自治〕 金森幸蔵(中野町) 杉川栄(西山) 米村喜六(上野) 角本守(庄林) 平間源治(木本) 猪野薫(下郷)

〔納税〕 二番上納税貯蓄組合(芝田重助) 春日一丁目同(吉田静雄) 坂戸納税組合(小林源左エ門) 下舌下一同(印牧金太郎) 猪島同(伊藤敬一郎) 新河原同(松田治太郎) 堂島同(村上米吉) 安土義雄(日吉町) 中道貞仁(元町) 吉田泰(明倫町) 皆藤茂(日吉町)

〔交通〕 黒瀬一夫(高砂町) 能遷会(柿本喜代治)

〔産業〕 大野燃糸工業協同組合

(稲葉仁太郎) 赤尾惣兵衛(元町) 富平吉雄(高砂町) 小林伊太郎(中荒井町) 斉藤総一郎(中据) 松田喜一(上黒谷)

〔学校教育〕 野田俊吉(春日二丁目) 土蔵正人(稲郷) 大村良秀(明倫町) 松本正治(菖蒲池) 岩崎武志(糸魚町) 佃俊夫(阿難祖地頭方) 小島幸(土打) 佐々木四郎(阿難祖地頭方) 安川五十三(下舌) 沢山庄一(月美町) 門前正道(西山) 南栄(美川町) 梅田恭子(明倫町) 禪定智子(八町) 浦山幸子(木本)

〔社会教育〕 斉藤秀雄(日吉町) 山崎博(篠座) 大野菊友会(広川静) 坂井保(春日一丁目) 鈴木明太(城町) 宮山朗(高砂町) 鳥山としを(春日二丁目) 中島美代子(有明町) 室谷保(中荒井一丁目) 大宮一幸(泉町) 神谷幸雄(月美町) 中谷重任(美川町) 前野五郎(森本) 中村亮一(不動堂) 竹田一男(下麻生島) 谷政吉(春日二丁目) 坪井こま(高砂町) 上庄のあゆみ編集委員会(井尾治郎左エ門)



融雪装置が設置された市街地の屋根

動くと融雪水だけで3時間もたたないうちに地下水は枯渴状態になります。

精査、河川流量調査を計画

水の流入流出をつかむ

過去12年間の専門的な調査から「大野の地下水の安全な使用量は1日10万リットル」と推定してきました。

この推定量をより正確なものとするために、この夏から地下水の精密調査と表流水収支の調査を2,370万円かけて行います。

地下水の精査は、市街地の中心部の日吉町に810万円をかけて深さ100メートルと30メートルの観測井を掘り、地質や地層、水帯構成、透水量、ゆう水量を調べ、すでに設置されている堂本や旧競馬場跡地、菖蒲池、陽明中の観測井のデータとも合わせ、地下水の動向を正しくは握ります。

また、表流水収支調査は1,560万円をかけ、大野盆地を流れている九頭竜・真名・清滝・赤根・木瓜・日詰川の6河川の流入・流出量、それに地下浸透の状況を調べます。

これら2つの調査結果はこれからの節水対策、また将来の上水道建設計画の資料として生かしていきます。



## 老人憩いの広場



# 亀山裏に1,800万円て建設

## 土と親しめる園造りに工夫

清滝（旧隔離病舎跡）の老人憩いの広場建設地

市は今年度「老人憩いの広場」を清滝（旧隔離病舎跡 2,595平方メートル）に造ります。

この広場はお年寄りがのびのびとレクリエーションを楽しみ、心や体を休めていただく施設です。

総事業費は1,868万円で、周囲には桜、ツツジを植え、1,736平方メートルの広さの中に土と親しめる花壇や菜園、梅、桃、ナシなどの果樹園、それに芝の園、ベンチ、パーゴラ、あずまや、便所などを設けます。

この広場の建設については、国の

補助金 975万円があります。

これは昭和47年5月に制定された「工業再配置促進法」により、東京や大阪などの過密化した地域の工場が低工業開発地域へ移転した場合、その地域の福祉と環境保全の施設を整えるため、移転工場1平方メートル当たり5,000円の補助金（1億円まで）が出ます。

この広場造りの補助金は、昭和48年に東京から移転増築された東立通信工業株式会社（中野町3）の進出によって交付されるものです。

有終会館南側の「有終花園」2,2

76平方メートルには、つややかなナスがあらこちらで実のり、お年寄りたちがその1つ1つをいたわるように収穫しています。

有終花園は有終会館敷地の一部を市が大野市福祉協議会へ貸与し、協議会が大野地区老人クラブとタイアップして、市街地のお年寄りに1人

「お年寄りの畑／有終花園」  
「手入れが何よりの楽しみ」

当たり8平方メートル単位でお貸ししているものです。

3月に希望者を募ると150人の申し出があり、現在はその人たちが自分の畑に菊、ダリア、ヒマワリ、グラジオラスなどの草花やナス、トマト、ジャガイモ、豆、キュウリなどの野菜を栽培しています。

会員の1人立平利雄さん（70歳元町6区）は「土に親しむ機会の少ない町の年寄りには何よりの魅力です。作物はわが子のようにかわいし手入れをしている時はすべてを忘れて楽しいひと時を過ごせます。またここにはいつでも五、六人が来て

### ⑤0 明治19年コレラ流行



## 殉職者の墓

明治18、19年に大野地方にもコレラ（虎列拉）が前後に例をみない程大流行しました。特に19年には患者数が1,327人の多きに達し、そのうち半数以上の733人が死亡、その大部分が新田野に埋葬されたと記録されています。（大野郡誌）



特に上庄地区に患者が多く、川下の人たちは防疫体制もなく、感染経路の究明もほとんど出来ない不安と苦悩の毎日であったと。また、患者の看護と防疫のために倒

れた尊い犠牲者も多かったと伝えられています。

善導寺には当時警察署員で殉職された方の墓があります。

「明治十九年当虎列拉病流行 為公務感染 九月二日歿 有志者建之」と刻まれ当時の恐怖を物語っています。

「いるので、いろいろなことを話し合っ  
て気持ちよくなります」と話して  
いました。市福祉協議会が提唱した  
「有終花園」は老人の生きがい事業  
の1つとして着実に効果を上げてい  
ます。(写真はナスの収穫を喜び合  
うお年寄り)



#### ④水質基準

現在の水道が昔の水道と違う  
点は「水質基準」があること  
です。水道法第4条に「水道によ  
り供給される水は、次の各号に  
掲げる要件を備  
えなければならない」と定めて  
います。すなわち①病原生物に  
汚染されていないこと②シアン  
水銀その他の有  
毒物質を含まないこと③銅、鉄  
フッ素、フェノールその他の物  
質が許容量をこえて含まれてい  
ないこと④異常な酸性、または  
アルカリ性でないこと⑤異常な  
臭みがないこと⑥無色透明であ



ることです。水中の病原生物は以前  
は、腸チフス、赤痢、コレラ、腸炎  
などの胃腸系伝染病が主でしたが、  
最近では小児マヒ・流行性肝炎などの  
ビールスによるものも水系伝染病に  
加えられました。

また、有毒物質は農業の使用や工  
場からの廃水な  
どで種類が増え  
その処理も複雑  
になっています  
大野市は幸い  
この水質基準に  
近い地下水に恵  
まれ、飲料水や  
工場用水に使用しています。

しかし、この水も地下水位の低下  
が続くと汚染が始まり、①-⑥の要  
件が犯されます。

その結果、飲料に適さない水にな  
ってしまいます。

#### 水道のはなし

## プレイカップで遊びましょう

### さくら公園が完成

北部土地区画整理  
事業区域内に公園が  
また1つ出来ました

その名は「さくら  
公園」。中荒井の都  
市計画街路駅東線と  
木瓜川にはさまれた  
2,100平方mを、昨  
年9月から800万円  
で整備に着手、この  
程完成しました。外  
周りには桜48本と  
ツツジ25株を植え、  
花壇やベンチパー  
ゴラなどをセットし  
てだれでも憩える  
ように造られています。

遊具はスベリ台、  
プレイカップ、遊  
動舟、ブランコ、  
砂場などがあり近  
くの子供たちのよ  
い遊び場になり  
ました。

この区画整理事業  
区域内には4つの  
公園が計画されて  
おり、ことしは3  
つ目の荒井公園の  
整備が行われて  
います。



遊具が整ったさくら公園

#### 保育園保育料

### 6月から平均 16.5%アップ

徴収基準の引き上げでやむなく  
保育園の保育料が6月から平均16  
.52%高くなりました。

この引き上げは厚生省の保育料徴  
収金基準額の改定によるもので、現

行のままの保育料では本年度末に2  
,419万円の超過負担(市の義務負担  
以外の持ち出し)となり、市の財政  
を大きく圧迫することになります。

そのため、大野市保育料徴収基準  
審議会が6月7日・11日に開かれ、  
審議の結果現行基準の16.52%ア  
ップ、市が1,015万円(見込み額)の超  
過負担をする案を市に答申した  
新しく決まった保育料の基準は、  
3歳未満の場合、年間所得税額1万  
5,000円～3万円の家庭で保育料1  
ヵ月9,500円が1万3,000円に、36  
.8%の引き上げになりアップ率が最  
高。3歳以上では、年間所得税額9  
万円～12万円の家庭で1万3,500  
円が1万4,500円に、7.4%の引き上  
げで最低になっており、保育料の高  
額層を抑えて全体に徴収率をア  
ップする方向がとられ、これで県下6  
市並みの徴収基準になりました。

#### スマイル

##### 「公約」

ハリ千本用意しています

—有権者



# みどりし太陽の季節

子供たちが待ちに待っている夏休みはもう間近です。夏休みこそ太陽や緑の下で伸び伸びと心と体を鍛えたいもの。幸い大野市には、手近な所に自然がいっぱいです。どのような利用の仕方をすればよいかを4人の市民の方に「私が推薦するコース」として紹介してもらいました。あなたも親子で、またグループでハイキングや登山、サイクリングにお出かけ下さい。

宝慶寺—摺鉢峠—黒谷コース

疲れ吹っ飛ばながめ

大野一望「三本松」

二ノ宿滝—三角山—牧場・円山公園コース

## 雄大な草原うまい空気 親子で合唱したくなる

関 哲樹さん (41歳 御給 僧職)

六呂師の奥越青少年の森付近に、「二の宿滝ハイキングコース」と「三角山ハイキングコース」があります。奥越青少年の森のスクールキャンプ場から宿谷川に下る林を通ると、カッコウ、ウグイスなどの小鳥のさえずりに迎えられます。溪流にはイワナがおり、カジカ(カエル)の声も時折り聞こえてきます。

この谷を上ると高さ1000mの二の宿

滝に着きます。真夏でも「自然の冷蔵庫」にいるようで、汗もサッと引き疲れもとれます。二の宿滝からしばらく登るとキャンプ場に出、キャンプ場の広い道を下ると右側に「三角山ハイキングコース入口」の立札があります。



ここから山道を登ることになり、急な坂道ですから子供のペースに合わせて小休止しながら進みましょう。頂上からの展望はすばらしい。リフト終点付近で昼食をとるのがよいでしょう。空気はうまい、お弁当もうまい、奥越高原牧場の雄大な草原が開け、放牧牛がのどかに遊んでいます。

大野市を鳥観しながら親子で合唱をして下さい。坂道を下ると青少年の森のロッジに着きます。さらに「牧場、円山公園ハイキングコース」を回れば「清流」「山」「高原」と三拍子そろったハイキングが楽しめます。(コース使用は青少年の森へ届け出して下さい。)

小沢隆一さん (46歳 新庄 会社員)

木本でバスを降り、いよいよハイキングに出発です。道は清滝川に沿って約5km、1時間の行程で宝慶寺に着きます。



参拝をすませ、お寺の裏の細い道を「座禅岩」へ向います。少し登り池田町へ通じる県道を横切って、谷沿いのやや急な坂を15分程進みます。再び県道に出て約200m行きますと「座禅岩登り口」の道標があり、約5分で座禅岩に着きます。寂円禪師が座禅された所といわれ、目の前には银杏峰、部子山の霊峰がそびえ眼下には宝慶寺の谷が広がる絶景の場所です。

ここから50m程登ると美山町との境界で、この尾根の松林が続く山道を約40分進むと阿難祖の上の小高い山に出ます。ここは三本松展望台といわれ、大野盆地と荒島岳、経ヶ岳白山などの連山が一望出来て今ま



# 夏

こんなコースはいかがです

ユッテの前から南に延びる林道を約1<sup>km</sup>。行くと二本松に出ます。ここで一服し、小川の水で汗をふきます。



ここは昔、若生子から大野へ出て来る人々が通った所で宿場がありました。今はここが林道の終点で、



森山から汗をふきふき登ってきた苦勞もいっぺんに吹き飛ばしてしまうすばらしいながめです。

大野盆地が一望出来、足元に広がる緑の田に自分の体が吸い込まれそうな感じの大パノラマです。

ここでゆっくり食事をしましょう大野盆地の反対側は若生子で、たっぷり水をたたえた真名川ダムが見えます。帰りは新しい作業道を下り、30分程で二本松へ着きます。

への疲れが吹き飛ばしてしまいますここでゆっくり昼食をとり、その後は最後のピーク急な登り坂で汗を流します。そこからは真下に摺鉢峠が見え、「赤カブ」で知られる美山町の河内へ通じる黒谷・河内林道へ出ます。道は谷の斜面に沿って約6<sup>km</sup>。東に開けた景色を楽しみながら下山すると「観音様」で知られる黒谷に着きます。



頂上は盆地のパノラマ  
歴史の重み感じる旧道

森山—二本松—若生子坂コース

平鍋 弓子さん  
(34歳 春日二丁目 主婦)

森山スキー場までは自転車でいきましょう。少し汗ばみますが自転車を引いて上がりヒュッテに置きます。いよいよここからハイキング。ヒ

これより上は森林組合の作業道になっており、100<sup>m</sup>程進むと左の杉林に旧道への入口が見えます。この旧道は何百年の間、人々が牛馬に荷を積んで往来した道です。

歴史の重みをヒシヒシと感じながら30分程登ると若生子坂。

ここには昔、殿様の手紙を失い打ち首になった「はだか半兵衛」の墓があります。お参りしたらすぐ右手の新しい道を登りましょう。

## 勝原—魚止—仏御前の滝コース

### 落差 100<sup>m</sup>の水しぶき 伝説の滝で涼味を満喫

松山 泰美さん (33歳 中挾 公務員)

国鉄勝原駅から国道 158号線を30分程歩くと勝原スキー場が右手に開けます。

さらに進むと昨年開通した馬返し道があります。昔はこの街道最大の難所でしたが、今はオレンジ色の照明の中を苦もなく通行出来ます。ずい道を出ると左手方向に打波川が流れ、はるかかなたに白山が望め



ます。谷間からチラッと見えるところから「一目白山」といわれています

眼下の九頭竜川には、奇岩と奇勝で名高い「魚止」があります。

遊歩道がついていて散策を楽しむことが出来、清い流れと白い大きな

岩、川を渡る風は涼しく大野にもこんなすばらしい所があったのかとびっくりさせられます。ここで弁当を広げるのもよいでしょう。

再び国道に戻って奥へ進みますと仏原ダムがあり、ダムから少し進んだ所に「仏御前の滝」の立札があります。整備された遊歩道を約 500<sup>m</sup>登りますと、その昔「仏御前」が毎朝顔を洗ったという滝に出ます。

落差 100<sup>m</sup>といわれ、扇状に広がって落ちる水しぶきで歴史と涼味を満喫出来ます。

帰りには東勝原で水遊び。このコース親子で一度お楽しみ下さい。





◆訪ソ青年・婦人の船団員決まる

ことしの訪ソ青年の船、婦人の船の団員が決まり、大野市からは次の方々が参加します。

〈青年の船団員〉

第1船(7月17日~30日)

沢田洋子(七坂) 森本直美(高砂町) 城地美津江(蕨生)

第2船(7月22日~8月2日)

尾崎治美(中荒井) 野田辰範(中荒井) 湯元清麿(中荒井) 中兼一美(七坂)

〈婦人の船〉

第2船(7月22日~8月2日)

竹林芳子(花房) 前田喜代野(上丁)

◆就業構造基本調査にご協力を

就業構造基本調査が7月1日全国一斉に一般家庭を抽出して行われます。

この調査は総理府がわが国の就業構造を明らかにするため行いますので、調査員が訪れましたらご協力下さい。

◆親子県政バスにどうぞ

親子県政バス教室が次のように行われます。ご希望の方は7月21日までに県広報課県民相談室(福井市大手3丁目17-1)へ住所、氏名、年齢、連絡方法を往復はがきに書いて

申し込んで下さい。

〈期 日〉7月28日(木)

〈集 合〉越前大野駅午前8時20分

〈対象・人数〉親子60人

〈コース〉国鉄大野駅→福井臨工→陶芸館→児童会館→交通管制センター→国鉄越前大野駅

◆真名川の増水に注意

夏休みに入ると子供が真名川へ水遊びに行く機会が多くなります。

真名川は真名川ダム、真名川発電所の完成で昨年とは比較にならないほど水量が多くなっています。

特に五条方のえん堤(真名川発電所の放水口)~佐開橋は水量の増減がありますので遊泳しないこと。また危険水域(立入禁止の立札のある所)には絶対に入らないように家庭でご指導下さい。



◆国家公務員(税務)採用初級試験

〈受験資格〉昭和32年4月2日~昭和35年4月1日生まれの男子

〈受付期間〉7月13日~22日

〈第1次試験〉10月2日(日)

〈申し込み〉用紙は各高等学校、大野税務署にあります。お問合わせは大野税務署(6-2180)へ。

◆福井県の警察官募集

〈受験資格〉大学卒業者および卒業見込みの者で、昭和25年4月2日~

今月の納税
保険税第1期、固定資産税
第2期分
8月1日までに納めて下さい

31年4月1日に生まれた日本国籍の男子。身長160cm、体重47kg、胸囲78cm、視力裸眼0.6(矯正1.0)以上で聴力、弁色力正常な人。

〈試験日、場所〉8月7日(日)高志高等学校(福井市)

〈申し込み〉7月15日~8月1日大野警察署、各駐在所・派出所で受付用紙は7月1日から同所で渡しています。

◆少年ソフトボール大会に声援を

第9回大野市少年ソフトボール大会が、7月31日、8月1日の両日午前9時から市民グラウンドで行われます。ご声援を。

◆市民総合体育大会は17日

第20回大野市民総合体育大会陸上競技会が、7月17日(日)午前8時30分から阪谷小学校グラウンドにおいて、各地区対抗で行われます。ご参加下さい。

◆無料調停相談のご利用を

無料調停相談が7月19日(火)午前10時~午後4時市役所第3会議室で行われます。

土地、家屋、金銭、交通事故、親子、夫婦、その他家庭の問題などでお悩みの方はご利用下さい。

お見聞 (Editorial)
最近「校外教育」という言葉が新しく登場してきた。学校当局が校下で行う生活指導、両親が行う家庭教育、地域社会の人々による社会教育の三者の内容を包含する教育用語である。従前は「校外指導」とか「校外生活指導」と呼ばれて来たものだがやはり「校外教育」の方が教育の大切さと深みを感じさせる▼本年度は「教育の年」といわれ、国を挙げて教育についての反省と、その改革が強く呼ばれている。学習指導要領の改正、入試地獄の解消、乱塾問題への対処等、教育が抱える課題は多い。もちろん教育は百年の大計が必要であり、功を急いでほならないが、怠慢も許されない▼当市においては、青少年の健全な育成について議会で再三取り上げられ、特に非行化防止対策に関する強力な推進方が論議されている。(市議会報所載)子供会育成会、青年会議所、PTA等の協力、また学校、公民館、有終会館その他の施設設備の解放、さらに補導に関して愛護センター、警察、各市民団体等が連絡を密にしてこれに当たることになり、その効果が期待される▼いよいよあと二旬で小・中学校は夏季休業に入る。四十日間学校から解放される児童、生徒のために各家庭で、各地域社会で、充実した、ゆとりある生活が出来るよう、そして一人の事故者(身心とも)も非行者も出ないよう、市民挙げての温かい配慮がほしいものである。
M 生